



第42回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ： 未来を拓く情報学と教育の情報化

<http://www.jsise.org/taikai/2017/>

- 開催日時： 2017年8月23日(水)～8月25日(金)
- 会場： 北九州国際会議場(〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30)
- 主催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程(予定)

8月23日(水)	
午前	プレカンファレンス
午後	開催校挨拶, 基調講演, 企業セッション, 一般セッション(口頭発表およびインタラクティブ発表), 企画セッション
8月24日(木)	
午前	一般セッション(口頭発表のみ), 企画セッション
昼	企業ランチョンセミナー
午後	特別講演, 各種表彰, 一般セッション(口頭発表およびインタラクティブ発表), 企画セッション, 学生研究特別セッション(インタラクティブ発表)
夜	懇親会
8月25日(金)	
午前	一般セッション(口頭発表のみ), 企画セッション
午後	クロージングセッション, 大会奨励賞表彰, 現地主催公開シンポジウム

(*) 大会日程は変更の可能性があります。

■ 大会までのスケジュール

投稿締め切りの後に、参加申し込みが開始されます。発表者には、参加申し込み開始時にメールでご連絡いたします。

- 2017年3月30日(木) 講演申込・投稿開始
- 2017年5月2日(火) 講演申込締切
- 2017年5月30日(火) 投稿締切
- 2017年6月1日(木) 参加申込開始
- 2017年6月29日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2017年7月25日(火) [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2017年8月2日(水) [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員： 7,560 円 学生会員： 3,240 円 非会員（学生以外）： 10,800 円 非会員（学生）： 5,400 円 論文掲載料： 1,000 円（論文一編につき）	一般会員： 8,500 円 学生会員： 4,000 円 非会員（学生以外）： 12,000 円 非会員（学生）： 6,500 円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般： 5,000 円 学生： 3,000 円	[懇親会費] 一般： 7,000 円 学生： 3,000 円

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンスのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更の可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 企画セッション

1. 小型ハードウェアと電子工作による教育システム・ツールの開発
2. 医療・看護・福祉領域における ICT 等活用教育
3. ICT 活用した PBL(problem / project based learning)の支援
4. 新技術に基づくメディア／デバイスを活用した学習支援環境
5. ラーニング・アナリティクス（LA）の先進事例と課題
6. 組織的な e ラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用
7. 身体知と認知に関わる連続性のあるスキル学習支援
8. プログラミング的思考とプログラミング教育

■ 講演論文集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM、および Web による配布としております。Web 版の講演論文集は、8 月 17 日(木)に大会参加者のみに公開され、2018 年 3 月 1 日(木)に一般公開されます。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。お申し込み先など、詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp

2017 年度 第 1 回研究会 開催案内

担当：松居辰則，真嶋由貴恵，加藤泰久，北村士朗，森本容介，仲林清（研究会委員会）

■テーマ：学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般

※情報処理学会「教育学習支援情報システム（CLE）研究会」，学習分析学会（JASLA）研究会との共催です．

■開催日時：2017 年 5 月 13 日（土）

※プログラム編成によっては，5 月 14 日（日）にも開催する可能性があります．4 月下旬に Web サイトに掲載される予定のプログラムをご確認ください．

■会場：国立情報学研究所（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

東京メトロ半蔵門線／都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A9 出口

東京メトロ東西線「竹橋」1b 出口 徒歩 3～5 分

<http://www.nii.ac.jp/about/access/>

※入館のために名簿を提出する必要がありますので，参加者登録をお願いします．詳しくは学会員向けの ML でご案内いたします．

■参加費等：

教育システム情報学会研究会への参加は無料です．研究報告（講演論文集）は，1,000 円で当日購入できます．研究報告は電子化されており，インターネット経由でダウンロードするか，受付に準備する USB メモリからコピーしていただきます．詳しくは以下のページをご覧ください．

http://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html

共催する JASLA 研究会への参加は無料ですが，CLE 研究会への参加は有料ですのでご注意ください．

CLE 研究会への参加費は以下のサイトでご確認ください．

<http://new.sigcle.jp/>

■懇親会：研究会終了後，懇親会を開催する予定です．会費は 4000～5000 円の予定です．

■お問い合わせ先：

松居辰則（早稲田大学，第 1 回研究会担当委員）

E-mail: matsui-t@waseda.jp（「@」の部分は，半角の「@」に変えて下さい）

教育システム情報学会英文誌論文募集 (Vol.17 夏期募集)
The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 17

※J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

※J-STAGE を通して、Google Scholar, CiNii を初めとする国内外の主要な検索エンジンや学術情報サービスと連携しており、掲載された研究成果は国際的にも認知可能となります。

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S510_ja.html

教育システム情報学会では、2002 年から毎年定期的に英文誌：The Journal of Information and Systems in Education を発行しています。2011 年からは、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルに移行し、国際的な発信力を強化しています。このたび、Vol.17 に掲載する論文を募集いたします。教育システム情報に関連した領域全般を対象としておりますので、是非、この機会に多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思ひます。下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

○論文種別：

原著論文(Original Paper), 実践論文(Practical Paper),
ショートノート(Short Note), 実践速報(Report on Practice)

○投稿締切：

2017 年 5 月 31 日

締切までに投稿いただいたものは、2017 年 12 月末までに採録の可否を決定・通知する予定です。採録された論文については校正等の手続きを経たうえで順次 Vol.17(2017)に掲載させていただく予定です。

○投稿要件

- ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください。

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

○投稿方法

※電子投稿システムを利用して投稿を行ってください。

- ・ 下記 URL より電子投稿用 **Web** ページにアクセスしてください。

https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

- ・ 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
- ・ 投稿論文は印刷イメージに近い書式で **PDF** ファイルとして作成し、アップロードしてください。

※査読・判定結果の言語の希望（英語または日本語）を電子投稿システムの「**Comments to the Editorial Office**」欄に記入してください。希望の記入がない場合、言語は英語になります。なお、希望にそえない場合がありますので、予めご了承ください。

2016 年度 第 6 回研究会 開催報告

- テーマ：ICT を活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程／一般
- 開催日：2017 年 3 月 18 日（土）
- 開催場：北九州市立大学 北方キャンパス
- 担当：西野和典，西端律子，永田奈央美，長谷川理，鷹岡亮，浅羽修丈
- 会場担当：浅羽修丈(北九州市立大学)
- 発表件数：31 件
- 参加者数：67 名
- 概要

2017 年 3 月 18 日（土）に、北九州市立大学北方キャンパスを会場として、特集論文研究会と合同で、第 6 回研究会を開催しました。今回の研究会テーマは「ICT を活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程／一般」で、31 件のご発表がありました。

具体的には、アクティブ・ラーニング，プログラミング教育，語学教育，保育者学習支援，社会福祉士養成，災害時コミュニケーション，社会的ネットワーク，数学的思考，作問，教材提示，学習過程記録，ICT 活用能力，プレゼンテーション教育，問題解決，教育フレームワーク，自己調整学習，質的分析手法，レポート作成指導，相互評価など，幅広い研究発表が 4 つの会場で行われ，発表後には熱い質疑応答も展開される研究会となりました。また，「未来の大発明家を育てるプログラミング教材」と題した特別講演（講師：(株)アーテック 藤原悦氏）も実施され，テーマである「新教育課程」について多くの参加者と共に考える機会を得ることができました。

研究会参加者は，特集論文研究会とあわせて 127 名（受付数：第 6 回研究会 67 名，特集論文研究会 60 名），研究会後には特集論文研究会と合同懇親会も行われ，27 名の参加者が積極的に意見交換，議論を交わしていました。

最後に，第 6 回研究会でご発表，ご参加いただきました皆さま，座長をお引き受け頂いた先生方，会場の準備・運営を行って頂きました北九州市立大学と九州工業大学のスタッフの皆さまに，この場をお借りしてお礼申し上げます。

2016 年度特集論文研究会 開催報告

■テーマ：安心・安全な社会に貢献する教育システム／プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム／一般

■開催日時：2017 年 3 月 18 日（土）

■会場：北九州市立大学 北方キャンパス

■担当：西野和典（研究会委員会／学会誌編集委員会）、笠井俊信（学会誌編集委員会）、國宗永佳（学会誌編集委員会）、光原弘幸（研究会委員会／学会誌編集委員会）、布施泉（研究会委員会／学会誌編集委員会）、田中孝治（学会誌編集委員会）

■会場担当：浅羽修丈（研究会委員会）

■発表件数：33 件 / 参加者数 60 名

■概要：

特集論文研究会は、2017 年 3 月 18 日に、北九州市立・北方キャンパスにおいて第 6 回研究会と共同開催されました。重要性が高まり世間の注目を集めている 2 つのテーマ「安心・安全な社会に貢献する教育システム」「プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム」を中心として、幅広い研究発表を募集いたしました。結果として、33 件（うち 27 件が後述の「コメント希望」）の発表が行われ、60 名の方にご参加いただき、各会場とも熱心に議論が行われました。また、並行して開催された第 6 回研究会とも相互に参加が自由となっており、2 つの研究会を合わせると 120 名以上の方が参加されました。

この特集論文研究会は他の研究会とは異なり、2018 年 4 月発行の学会誌特集号への投稿を促進することを目的とし、前年までと同様に、特集号と同じテーマで発表を募集すると共に、希望者には研究会委員会と編集委員会からのコメントの提供を行いました。このコメントは発表後に電子的に発表者に送付されました。また、本特集論文研究会のもう一つの特徴は十分な質疑応答時間（20 分）の確保です。前述の研究会委員、編集委員からのコメントだけではなく、研究会当日に参加者から様々な質問やコメントを受けることによって、研究を発展させて、よりよい論文を執筆していただくことを目指しています。各セッションでは通常よりも長いディスカッションの時間を十分に利用して活発な議論が展開されました。コメントや議論が特集号への投稿の弾みになれば幸いです。

懇親会は第 6 回研究会と合同で開催され、ステークを頬張りながら、議論の続きをしたり教育・研究について熱く語り合ったりと、とても有意義な時間でした。

最後に、コメントを提供していただいた皆様、座長をお引き受け頂いた皆様、会場校として準備・運営を行って頂きました浅羽先生ならびに学生スタッフの皆様がこの場をお借りして御礼申し上げます。



JSiSE 学生研究発表会の開催報告

人材育成委員会

平成 28 年度 JSiSE 学生研究発表会が例年同様に 2 月末から 3 月上旬にかけて、北海道、北信越、関東（合宿形式）、東海、関西、中国、四国、九州、沖縄の 9 地区で開催されました。発表件数は 125 件（前年度より 35 件の大幅増）、来場者数は 325 名（前年度 304 名より 21 名増）であり、各会場とも盛況な研究発表会となりました。優秀な発表については、優秀発表賞および優秀ポスター発表賞として各地区で表彰されました。表彰情報については、学会 Web サイトで公開しますのでご覧ください。

開催地区 開催都市	開催場所 実行委員長	開催日 2017 年	発表件数	来場者数
北海道 千歳市	千歳科学技術大学 千歳科学技術大学 小松川浩	3 月 4 日（土）	9	33
北信越 長野市	信州大学教育学部 信州大学 新村正明	3 月 4 日（土）	11	29
関東 鉾田市	鉾田市市民センター（宿泊場所：犬吠埼観光ホテル） 尚美学園大学 山本樹	2 月 28 日（火） ～3 月 1 日（水）	10	17
東海 名古屋市	愛知県立大学サテライトキャンパス（名古屋駅前） 鈴鹿工業高等専門学校 浦尾彰	3 月 6 日（月）	12	37
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス 兵庫大学 河野稔	2 月 28 日（火）	35	113
中国 広島市	広島工業大学五日市キャンパス 広島工業大学 松本慎平	3 月 4 日（土）	32	52
四国 高松市	香川大学 香川大学幸町キャンパス 香川大学 林敏浩	3 月 3 日（金）	5	15
九州 福岡市	九州工業大学サテライト福岡天神 日本文理大学 坪倉篤志	3 月 7 日（火）	6	18
沖縄 那覇市	琉球大学総合情報処理センター 琉球大学 谷口祐治	3 月 3 日（金）	5	11

JSiSE 学生研究発表会関東地区実施の「合宿形式」についての報告

2016 年度学生研究発表会関東地区実行委員

平成 28 年度 JSiSE 学生研究発表会関東地区は、2 月 28 日～3 月 1 日にかけて、千葉県銚子市での合宿形式の研究会を実施しました（宿泊先と懇親会場は「犬吠埼観光ホテル」、口頭発表・ラウンドテーブルは「銚子市民センター」）。関東地区での数年ぶりの実施にプラスして、JSiSE の学生研究発表会としてはおそらく初めての合宿形式の試みということでしたが、盛況のうちに終了しました。

2 日間のスケジュールは以下のとおり、口頭発表・ラウンドテーブルとも両日使って実施しました。

関東地区 合宿研究発表会のスケジュール

2 / 28	13:35～15:15	口頭発表 1
	15:30～17:00	ラウンドテーブル 1
	18:30～20:30	懇親会
3 / 1	9:20～11:00	口頭発表 2
	11:10～12:50	ラウンドテーブル 2
	12:50～13:00	優秀賞の発表と閉会・写真撮影

研究発表は、研究目的・結果・評価までされたかなりレベルの高い発表が揃っていました。そのため、質疑の質も高いものになりました。後述するアンケートでも、「学部生の発表もあり、とても刺激を受けた」、「他校の学生や先生とお話したことで、自分の研究についての意見をもらい、また他の研究を知る良い機会になった」などの意見がありました。

ラウンドテーブルは 5 名×2 のグループに分かれ、それぞれのグループ内のメンバーの研究領域に近いテーマを設定し、2 時間強のグループ議論を行いました。「初学者対象のプログラミング教育」と「論理的思考力養成のための教育」というあえて幅の広いテーマを与えた上で、研究として成立するように「適切な具体化」から、「実際の研究方法の考案」までのタスクを要求することで、疑似的な研究方法のプロセスを体験してもらいました（テーブルごとに教員 1 名をファシリテータとして配置しました）。



ラウンドテーブルの様子

1 日目のスケジュールを終え、宿泊先で一息つき懇親会。懇親会では、地ビールなどをいただきながら、近くに着席した人同士で会話が弾んでいたようです。その後、各自部屋に戻った、と思ったら、とある部屋で、懇親会の続きが開かれていました。そんな中でも、学生たちは、ラウンドテーブルの議論の続きをしていました。

2 日目、口頭発表の後、ラウンドテーブルの成果発表を行いました。2 グループとも短時間で、よくテーマを絞り込めていたと思います。2 グループとも小学生対象の教育に絞ったところが特徴的でした。学生ながらに、2020 年に改訂される教育指導要領を意識しているのだな、と感じました。

この研究発表会 1 週間後に、今回の研究発表会について参加学生を対象に簡単なアンケートを取りました。合宿形式については、「楽しかったか」、「有意義だったか」との質問に対して、ほとんどの参加者が「とても楽しかった、有意義だった」との回答でした。自由記述欄には、「これまで行ってきた研究について、単に発表をするのではなく、合宿という形で、深く意見を交換する機会となり、有意義な 2 日間でした。」、「学生同士でディスカッションをして 1 つの議題について考えることは非常に有意義だと感じました。」、「立地や宿泊場所も含めて、とても楽しかった。」「来年も参加したい」など、好意的な意見が圧倒的でした。

ラウンドテーブルについては、「学生間の交流」、「ラウンドテーブル内外でのコミュニケーション」「提示した課題」、「課題と自分の研究との関連」はどうだったか？という質問に対して、おおよその参加者から、「とてもよかった」との回答を得ました。しかし、ラウンドテーブルの実施時間については、「4 時間以上欲しかった」という意見が大半を占めていたことから、ラウンドテーブルの時間調整が来年度の実施側の課題となりました。



研究発表会の最後の集合写真

一番の収穫は、参加学生のうち、これからの JSiSE の将来を担うであろう研究者の卵たち (B3 が 2 名、M1 が 1 名) に参加してもらえたことです。また、進学する学生も 4 名おり、これらの学生が、別れ際に「来年も参加したい」と言ってくれたことに、期待に胸はずむ思いがしました。



若手研究者育成ワークショップ

■開催日：2017年3月3日（金）

■会場：信州大学

■概要

北信越支部 学生研究発表会に先立ち、その前日の3月3日に、若手研究者育成ワークショップ「研究成果を磨く」を開催しました。このイベントは主に博士課程学生を対象に、研究成果を磨き上げ、論文投稿を促進するために北信越支部が企画したもので、今回で3回目の開催となります。この企画は、前回までは北信越支部の学生を対象としておりましたが、今年度は、全国の博士課程学生を対象に実施しまして、2名の博士課程学生より申し込みをいただきました。

ワークショップでは、まず JSiSE 仲林会長より、「研究論文のまとめ方と査読のポイント」のご講演をいただきました。研究における問題提起と問題を解決するための仮説設定の重要性が説かれるとともに、学術論文の投稿から採録に至るプロセス、査読者からみた論文の評価ポイントなど、示唆深いお話をいただきました。特に、仲林先生ご自身の最近採録された論文を実例に、研究会発表から論文投稿・採録に至るまでのプロセスと共に、条件付き採録になった場合の対応方法など、非常に実践的な説明いただき、理解の深まる内容でした。

このあと、博士課程学生2名（東京工業大学 坂田顕庸さん、はこだて未来大学 山本樹さん）および参加者による研究討論会を行いました。ここでは、博士課程学生が各自の研究概要について発表を行った後、参加者から多数のコメント・質疑が寄せられ、研究の位置づけの明確化や研究の発展可能性について考えていただく機会となりました。特に、両発表者とも論文投稿を前提とした研究発表を行っており、採録を目指すためには何が必要かなど、非常に実践的な内容となったうえ、発表者＝フロア間の応答だけでなく、フロア内でも議論があり、活発な意見交換が行われました。





研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、現在 31 巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年 140 件程度の研究成果(2014 年度 139 件、2015 年度 138 件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただけて参りました。2016 年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回、特集研究会 1 回、計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



Twitter アカウント開設しました

8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局分室（secretariat@jsise.org）へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用（フォロー）ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2017 年 3 月 31 日現在、フォロワー数 149 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・ 論文・発表募集
- ・ 本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2017 年 3 月 31 日現在、いいね 287 件





他団体 協賛・後援のお知らせ

協賛 「平成 29 年度工学教育研究講演会」

日時：2017 年 8 月 29 日（火）～31 日（木）

会場：東京都市大学世田谷キャンパス



会費納入のお願い

2017 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-6-709632

加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名： ゆうちょ銀行（金融機関コード： 9900）

店名： ○一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別： 当座 口座番号： 0709632

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード： 0005）

店名： 上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 0142708

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード： 0001）

店名： 茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 1399483

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※4月より所属が変更となった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【2016年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に2016年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局 (secretariat@jsise.org) までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。

この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2017 年 1 月 24 日～2017 年 3 月 23 日

氏名	会員種別
大川内 隆朗	正会員
竹岡 篤永	正会員

氏名	会員種別
海野 雅幸	賛助会員からの正会員
小渡 悟	正会員

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。